

建労新聞

田川建設労働組合



HP:<https://www.tagawa-kenrou.or.jp>
E-mail:tagawa-kenrou@tagawa-kenrou.or.jp



E-mail

発行所

= 全建総連加盟 =

田川建設労働組合
教宣文化部

山形県鶴岡市大塚町26-13
電話 (0235) 22-2832
FAX (0235) 22-3370



斎藤 大輔さん
美咲さん
のちゃん(8歳)
汰くん(5歳)
汰くん(4ヶ月)

今回は、鶴岡市羽黒町在住の斎藤大輔さん（羽黒支部・大工）の素敵親子を紹介します。

小学校教諭の美咲さんは高校時代にお互いバスケットボール部に所属、学校は違うものの大会で活躍していた二人、一つ先輩の大輔さんと次第に惹かれあう仲になつたそうです。現在では三人の子宝に恵まれ、令和四年七月に次男が誕生し賑やかな斎藤家です。お二人の趣味は旅行ということで、毎年恒例はディズニーランド。子供達の喜ぶ笑顔が浮かびますね。歴史ある住まいを現代風ながら、昔の面影も残しつつリフォームされた新居にも大輔さんのお人柄を知ることができます。

取材させて頂き、奥様も交えて色々なお話を出来て、大変楽しいティータイムであつたことに感謝いたします。

(記・教宣部 山田 雅之)

赤ちゃん誕生 おめでとうございます

第11回



執行委員長
和田吉和

新年の御挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年から執行委員長に就任しました、湯温海分会の和田吉和でございます。今後共、よろしくお願いします。

組合員、ご家族の皆様には、組合運営、組合活動に対しご理解していただき、お忙な中、お手紙を頂きました。誠にありがとうございました。また、お子様の誕生日を祝うお手紙を頂きました。お子様の成長を喜んでおります。

解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

令和四年に大工の山本秀康さん（羽黒支部）が、全建総連の推薦で青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジユニアマスター）を受賞されました。又、鶴岡市卓越技能者には畠工の長谷川静夫さん（上郷分会）と建築板金の芝田定吉さん（羽黒支部）のお二人が受賞されました。田川建労でも大変名誉な事だと喜んでおります。これからも自身の持つ知識と技術の伝承、後進への指導をお願い申上げます。

全建総連第六十三回定期大会が徳島県で三年振りの対面開催で行われ、一千二百名の仲間が参加しました。山形県からは人數制限のため十五名の参加になりました。旅割も始まり、新型コロナウイルスが終息の方に向に向かうと思われましたが、ここにきて第八波に入ったと思われます。インフルエンザと共に流行するのではと危惧されています。

皆々様におかれましては、お体に留意されましてお過ごしください。

令和三年からのウッドショック以降、材料の高騰が続き、高止まり状態です。今年も値上げが見込まれている今こそ、労働者の賃金アップに繋がる運動を組合員一人一人が声を上げ、組合と一丸となつて勝ち取りましょう。

今年の十月一日からインボイス制度、建築物石綿含有建材調査講習修了者による調査も義務化されます。組合でも講習会の日程など、隨時、田川建労情報等でお知らせしますのでご確認下さい。

今、日本の経済は厳しく不明な状況にあります。ロシアによるウクライナへの侵攻、円安、物価の上昇、北朝鮮のミサイルなど問題が山積みされていますが、私達は希望を持つて一層の団結を図り、難局を乗り切つていきましょう。

結びになりますが、組合員、御家族の皆様にとって素晴らしい一年でありますと共に、御健勝と御活躍を心より御祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。

令和5年1月1日 全建総連第六十三回定期大
会が十月十九日から二十一日
の三日間の日程で、徳島県ア
ステイとくしまを会場に、三
年振りの対面開催で、全国か
ら一千二百名の仲間が参加し
ました。山形県からは、人数
制限のため十五名の参加とな
りました。

大会前のアトラクションと
して、阿呆連による阿波踊り
が盛大に行われました。

一日目の大会で中西孝司中
央執行委員長より、未だに終
息が見通すことができない新
型コロナウイルス感染が続く
中、三年振りに全国の仲間が
結集し、対面での開催を実現
することができたと感謝の挨
拶に続き、勝野圭司書記長よ
り第六十二年度の経過報告と
して、急激な円安と物価高騰
は経済活動と市民生活に暗い
影を落としている中につけて
も、各県連・組合とも一歩で
も運動を前進させるために、
知恵を絞り総意工夫をこらし
ながら、仲間のいのちと暮ら
し、仕事を守る為に奮闘した
一年でしたとの報告がなされ
ました。その後、第三十八回
全国青年技能競技大会の上位
入賞者表彰で、一日目の本会
議は終了しました。

二日目は、十の分科会に分
かれて会議が行われました。
最終日には、分科会会議の
報告から始まりました。第六
十三年度運動方針案が討議さ
れ、長引くコロナ禍とロシア
によるウクライナへの軍事侵
略などが連鎖し、急激な円安、
物価上昇、資材価格の高騰、
新型コロナ等の影響で
大幅な賃金・単価の引
き上げ無くしては、生
活や仕事を維持できな
い状況下にある。厳し
い局面を乗り越え、仲
間のいのちと暮らし、
仕事を守るために「組織
拡大・CCUS推進で、
物価上昇を上回る賃金
・単価引き上げを実現
しよう」をスローガン
に、「仲間との繋がり

全建総連第63回定期大会

執行委員長 和田吉和



▲会場の様子

令和五年十月に施行される
インボイス制度についてお話
させて頂きます。一昨年より
進め、運動を前進させていく
が採決され承認されました。
最後に、全建総連・組合で
の組織増勢実現を最大の目標
とした運動を進め「六十五周
年を六十五万人組織で」の目
標実現に向け、全国全ての仲
間と共に奮闘する決意を固め、
全世代に力を結集し全力で取
り組むことを誓い、団結ガン
バローで全ての日程を終了し
ました。

免税業者が課税業者になれば
正に増税となります。死活問
題だとして制度の見直し、廢
止や延期を求める声が各方面
から上がっている一方、イン
ターネットの記事にはサラリ
ーマンの声として「免税業者
が預り金としての消費税を益
税とし、納税しないのは横領
に等しい」といった厳しい言
葉も書いてありました。

私達の全建総連では資材高
騰など冷え切る経済の下では
時期尚早ということで延期を
求めています。組合のインボ
イス制度のアンケート調査で
も「よくわからない」と答え
た方が六十五%もいました。
これからは、住宅メーカーへ
を回復し、コロナ共生社会で
活動できる強い組織づくりを
進め、運動を前進させていく
が採決され承認されました。
最後に、全建総連・組合で
の組織増勢実現を最大の目標
とした運動を進め「六十五周
年を六十五万人組織で」の目
標実現に向け、全国全ての仲
間と共に奮闘する決意を固め、
全世代に力を結集し全力で取
り組むことを誓い、団結ガン
バローで全ての日程を終了し
ました。

インボイス制度学習会

賃金・税金対策部長 佐々木博良



▲税理士による学習会

今年もまた講習会を開催予
定ですので、共に学びましょ
う。

自分はこのままいくべきか、
消費税を払つても課税業者と
なるべきか判断を迫られています。
度ですが、免税業者の方々は
商売を続けていくためには、
自己判断が求められます。



▲長谷川さん（左）と表彰状を受け取る山本さん（右）

長谷川さんは、昭和四十七年より父親の経営する事業所で、畠製作の修行を開始され、これまで五十年間技術の研鑽に励みました。昭和五十九年に一級技能士を取得し、一般住宅や寺院等の畠製作に幅広く活躍されています。

この様な日々の努力が認められ、前年度には公益財団法人日本建築士会連合会より「伝統的技能者表彰」を受賞されました。皆さんも御承知ください。

長谷川さんは、昭和四十七年より父親の経営する事業所で、畠製作の修行を開始され、これまで五十年間技術の研鑽に励みました。昭和五十九年に一級技能士を取得し、一般住宅や寺院等の畠製作に幅広く活躍されています。

この様な日々の努力が認められ、前年度には公益財団法

人日本建築士会連合会より「伝統的技能者表彰」を受賞されました。皆さんも御承知ください。

今年度は四名の卓越技能者の静夫さんが受賞されました。

長谷川さんは、田川建設労働組合上郷分会の分会長や本部の執行委員を歴任され、組合活動にご尽力頂きました。

又、亡き父の長谷川勇さんも、昭和六十年に第一回鶴岡市卓越技能者表彰を受賞されました。長谷川さん、親子二代の受賞、誠におめでとうございます。これからも健康に留意され、新製品の開発や技術の伝承に御活躍下さい。

（記・教宣部 佐藤 晃）

* * * * *

尚この度は、出羽商工会の推薦により芝田定吉氏（建築板金・羽黒支部）も鶴岡市卓越技能者表彰を受賞されました。おめでとうございました。

建設ジュニアマスター

令和四年十月十八日、有楽町よみうりホール

（東京）において、全建総連推薦の山本秀康さん（羽黒支部、山本建築）が国土交通省「建設ジュニアマスター」（青年優秀施工者不動産・建

鑑に努める一方、新たに弟

受賞おめでとうございます

鶴岡市卓越技能者表彰

令和四年度鶴岡市卓越技能者表彰に、上郷分会の長谷川静夫さんが受賞されました。

長谷川さんは、田川建設労働組合上郷分会の分会長や本部の執行委員を歴任され、組合活動にご尽力頂きました。

又、亡き父の長谷川勇さんも、昭和六十年に第一回鶴岡市卓越技能者表彰を受賞されました。長谷川さん、親子二代の受賞、誠におめでとうございます。これからも健康に留意され、新製品の開発や技術の伝承に御活躍下さい。

（記・教宣部 佐藤 晃）

* * * * *

尚この度は、出羽商工会の推薦により芝田定吉氏（建築板金・羽黒支部）も鶴岡市卓越技能者表彰を受賞されました。おめでとうございました。

田川建設労働組合大会告示

◆全建総連青年技能競技大会に継続して参加し、入賞3

回、銅賞3回、銀賞2回を獲得するなど、規矩術に関する技能は極めて優秀であり、技術への探求心が認められる。

◆一般住宅は勿論、神社関係の仕事にも棟梁として従事し、その技能技術を遺憾なく發揮している。

◆月山神社御本殿式年遷座御

造替工事、千佛堂新築工事などでは、先輩大工と共に従事し規矩術を駆使した施工を行なうと共に、後輩へ

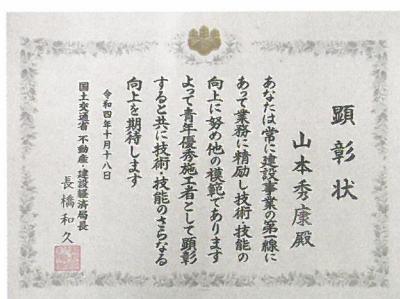
の指示・指導も行っている。

◆仕事の中で自身の技能の研

究めている。など、優秀な技術・技能が認められると共に、伝統技術の継承・発展において一層の活躍が期待されるとして受賞に至りました。

山本さん、本当におめでとうございます。

顕彰状
山本秀康殿



▲山本さんに贈られた顕彰状

開催方法について

新型コロナウイルス感染症対策の為、人数制限、時間短縮の上開催します。

執行委員長
和田 吉和

日 時
午後一時〇〇分

令和五年二月二十六日

会 場
グランドエル・サン
代議員

令和四年十二月末組合員数で、支部会毎に十

三人に一人（四捨五入）の選出となります。

また、通常一日日程のところ、午後からの半日日程に短縮し開催します。

なお、感染状況によっては、更なる人数制限、時間短縮となる事もありますのでご了承ください。

組織拡大キヤラバン行動

組織対策部長 佐藤 力

組織部の担当になつて三年になりました。組合運動の一丁目一番地の組織拡大キヤラバンについて、最近感じたことがあります。

組織拡大キヤラバンを行う

際に、新規の組合員確保のため、新築現場訪問を中心に行つきました。大抵の現場では田川建設労働組合の仲間の現場を訪れることが大変多くて、組織拡大運動に繋がっていないことです。また、大手ハウスメーカーでは、日本語で意思疎通が出来ないと思われる外国人が私の理解できな（私の勉強不足のせいかもされませんが）言語で会話をしているところに遭遇したりと、この頃、建設現場の労働環境の変化についていけない自分がいる事を思い知らされました。外国人に対して、恥ずかしながら英語すら話せない私では組織拡大運動が出来ないのでです。それでは、どういう組織拡大運動を開拓したらしいのか、暗中模索中です。



▲出発前の様子

また、若手の労働力不足問題です。建築現場での賃金不足が大きな問題なのは分かつているのですが、田川建設労働組合のアンケート調査の結果でも、事業主の方から賃金が低いという言葉が出てきました。何で、という思いで見ました。事業主が賃金を上げて若手を育成しようと考えていない事が問題なのに気づいていない、若い働き手を欲しきど安い賃金で使いたいと思つてている事の間違いに気付いていない事が一番の問題なのです。

今期も新型コロナウイルス禍という現状を踏まえ、安全パトロールを行いました。田川建労独自では、一月、六月、十月の三回、木建パトロールとしては五月、七月、十一月、十二月の四回行いました。九月も予定されていましたが、コロナ感染者が多数でしたので、中止させて頂きました。一回のパトロールではおよそ二件程の現場を見て回りました。今まで同じ現場には行つておりません。

私が労対部長になつてから三年になりますが、三年間コロナ禍でのパトロールですので、いずれも縮小開催で少人数での現場回りでした。



▲外部ネット・巾木不備

た。今でも、外部では足場で外部ネットが張られていない、巾木がない等、不備が多く見られます。又、内部では梯子のすべり止め措置がない、上部固定されていない、墜落転倒措置がされていない等です。道具関連では、丸鋸カバーの

是非とも、事業主の組合員になると思います。手労働者が増えれば、田川建設労働組合の仲間への勧誘もできるし、仲間も増えることになると思います。

安全パトロール

労働対策部長 今野秀逸

の皆様、若手建築労働者の質上げにご賛同いただければ幸いです。庄内地区的建築現場の環境が、未来へ開いていくきになると思います。



▲梯子の固定不備



▲丸鋸カバー不備

固定等がたまに見受けられます。三年前よりは余程改善され、朝、K-Y活動をする事が事故に繋がる様ですので、毎年と同等数の発生状況です。ほんのちょっとの気の緩みが事故に繋がる様です。交通事故に繋がる様です。事故予防になると思います。十分気を付けて作業をして下さい。

令和4年度も、田川建労での労災発生状況をみると、昨年と同等数の発生状況です。ほんのちょっとの気の緩みが事故に繋がる様です。事故予防になると思います。十分気を付けて作業をして下さい。

庄内森とみどりの フエスティバル

住宅・技術対策部長 五十嵐 恵治



▲会場に展示された建物

私が住宅対策部を引き継いだ時に新型コロナが大流行して、一向に収まる気配もなく、普段の生活も大幅に変えなければならぬ状態になりました。住宅対策部の一大事業である鶴岡市産業まつり『庄内森とみどりのフエスティバル』に参加して、建て方、上棟祭を実演するという行事も中止となりました。部会の中止となりました。でも、コロナ禍の今、何が出来るのか問題になりました。

新型コロナは次々と別のウイルスに変り、日本中のイベ



▲輪なげも行いました

ント等が中止となつたニュースが毎日放送されました。そうした中、二年前に次に建てる準備を兼ねて住宅・技術対策部で総点検の形で田川建労の駐車場に建物を建てることができました。令和三年も中止となり、長引くコロナ禍で事業も思うようにできない状態で、目的の建労の存在をアピールする場が無くなりました。

令和四年は、新型コロナが収束するような気配が感じられましたが、徐々に感染者が増え、中止かと思われました

が、三年振りに規模を縮小し、十月十五日、十六日にフェスティバルが開催されました。田川建労は、建物を展示し、上棟祭の実演は中止として参加しました。

前日の建て方は順調に進み、準備を整えることができました。

フェスティバル一日目、朝から人出が多く、建物を興

味深く見て行く人もいました。二日目は、前日より人出がかかつたように思います。展示のみのフェスティバルでしたが、伝統工法の建物をアピール出来たので良かったと思います。

木工教室の担当の部員の皆様、部員、執行部、事務局の皆様もお疲れ様でした。

主婦の会研修会

主婦の会会長 佐々木 智美



▲フラワーアレンジメント講習の様子

日頃より主婦の会にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年も新型コロナの影響を受けましたが、春はフラワーアレンジメント、秋は整理収納アドバイザーの梅津道代先生を講師にお迎え

して、片付けの具体的な方法やコツ、整理に関する考え方を学ぶ研修会を開催させて頂くことができました。

普段、意識しないと家の中には物が自然に溜まって物探しが大変になり、人は一年間に六十時間も探し物をしているそうです。そしてある物を買ったり、埃でアレルギーになつたり、転んだりしてしま

うとの事でした。正しい順番でスッキリ片付けることによって、時間や経済、精神、安全、安心というメリットがあり、やつた分だけ生活が変わ

るようになくては……」「聴いて良かった」という感想をいただきました。皆さんそれぞれ気付いた事、参考になると思った事を実践して心もスッキリできたら良いですね。

るそうです。



▲梅津先生の講話を聞く参加者

未だ新型コロナの収束の見通しが立たない状況ですが、今年も主婦の会は、コロナ禍でもできることを考え活動し、楽しみながら交流を深めて参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

東田川地区協議会の活動

藤島支部支部長 新 関 辰 夫

東田川地区協議会は、羽黒、櫛引、三川、立川、藤島、余目、朝日、大蔵の八支部で構成しています。令和四年度は次のような活動を行いました。

九月十一日(日)に、コロナ禍で二年間行われなかつたグランドゴルフ大会を、櫛引支部担当で三年ぶりに櫛引総合運動公園で晴天の下、八十名の参加者で大はしやぎました。結果は、団体優勝は立川支部、個人優勝は石塚英さん(立川)、二位は齋藤英夫さん(立川)、三位は鈴木幸一さん(藤島)でした。表彰式では、団体、個人の表彰のほか、飛び賞、参加賞となり、皆、ドキドキし楽しめました。来年は、大勢参加し、樂しめる事を祈念して散会しました。



▲協議会の様子

出後、三川支部長の挨拶があり、本部報告が執行委員長より行われました。本部執行委員の挨拶の後に、協議に入り、各支部の活動報告、支部組織等報告後、来年度の賃金についての話し合いが行われました。本部への要望事項は二項目程ありました。

今年度のグラウンドゴルフ大会の会計報告が櫛引支部より行われ、来年度のグラウンドゴルフ大会について話し合が行われ、余目支部担当で行われることが決まりました。今年度の協議会の会計報告後、執行委員長の掛け声の下、がんばろう三唱を行い閉会しました。コロナ前は、懇親会が行われていましたが、この様

なご時世の為、残念ながら出来ませんでした。

余目支部担当のグラウンドゴルフ大会、羽黒支部担当の協議会が盛大に行われることを切に希望しています。

大工塾
大井 正之

“大工塾”聞き慣れない言葉の響きだと思つてゐるでしょ。始まりは、鶴岡の番匠

劍持工務店棟梁であった劍持猛雄さんが、今の時代の若き大工職人に、伝統構法を受け継いで欲しいとの想いがあり、国からの補助金を受け、令和二年七月に三年計画で発足しました。

二年七月に三年計画で発足しました。“日本の伝統的大工塾”との名称です。補助金を受ける性質上、田川建労の組合員ではない方、

塾”との名称です。

三年目の今は、初級、上級を相手に、訓練校講師時代を思い出しながら、仕口、継手等、基本的な事に取り組んできました。

しかしながら、上級、初級、共に塾生の人数は様々な理由により減少し、現在上級が三名、初級が二名です。そして

が合同で、タイコ梁を用いた一つの建物を役割分担しながら上棟を目指し、月に一、二回の日曜作業に励んでいます。

猛雄さんが令和三年に亡くなり、他にも悲しい事があります。

初級コースに残った二名は、大工以外に職種を持つ人、し

かも女性です。まるで畠違いの仕事をしていただけますから、

が初級コースの指導をすることがになりました。四名の塾生苦労したことと思います。



真剣に学ぶ塾生

住宅デー 加茂分会

加茂分会分会長 村 上 寛



▲包丁研ぎに精を出す組合員

令和四年度の青年部の活動は、六月十九日にさくらんぼ狩り、七月三日に湯野浜海岸

青年部の活動

青年部部長 渋谷 真

向となり、若干安堵した次第です。ただ、残念ながら分会員の都合もあり、最小人数での開催となりました。天気に恵まれ、開始三十分も前から待つて頂いた方がいたり、大変好評を頂いておりました。また地域行事と重なった事もない様、また企画したいと思

りました。コニセイですが、コロナ感染拡大により、祝賀会行事等が出来なく、少しでも賑やかにとの思いも有り、開催した処です。

当日は、感染者数も減少傾向となり、若干安堵した次第です。ただ、残念ながら分会員の都合もあり、最小人数での開催となりました。天気に恵まれ、開始三十分も前から待つて頂いた方がいたり、大変好評を頂いておりました。また地域行事と重なった事も

九月二十五日、新しくなった加茂ミニティ防災センター駐車場を会場に、加茂分会住宅デーを開催しました。九月一日より新たに開所となりましたコニセイですが、コロナ感染拡大により、祝賀会行事等が出来なく、少しでも賑やかにとの思いも有り、開

りました。コニセイですが、コロナ感染拡大により、祝賀会行事等が出来なく、少しでも賑やかにとの思いも有り、開

あり、今までにないギャラリーに見守られ、いじられながら笑い声に包まれ、何時になく賑やかな時間となりました。

毎回来て頂いている常連の方や、いつもチラシは見ているけど時間が合わなくて初めて来た方だつたりと、少人数では対処出来ず、時間を延長しての対応となり、近年にはなほど盛り上がった住宅デーとなりました。

本来であればコロナ禍とのことであり、反省会も自粛中止かと思われましたが、盛り上がりの勢いで久しぶりの分

度は実の付きが良く、甘くて良かつたと思います。来年度も何かこの様な行事を行っていきたいと思います。

来年はどうするのか鬼に笑われそうなので語れませんが、楽しいながら持つて来てくれる方々をガッカリさせる事のない様、また企画したいと思

います。

湯野浜海岸清掃は、ここ例年年のコロナ対策として青年部員だけの少人数で行ないました。世界的にコロナ禍のためか、今年度は海岸に流れ着くゴミの量が少ないようと思わ

れました。

今年度は、表計算初級II講座を十月二十九日(土)と三十日(日)の両日、定員十人の受講者でPCカンパニーの富樫先生から指導を頂き、過去の講習会を復習しながら、スキルアップを図るために、マイクロソフトエクセル二〇一九

応用編を手本に学習を行いました。

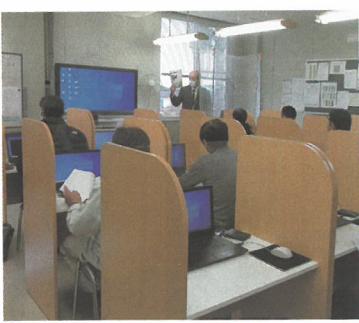
令和四年度の青年部の活動は、六月十九日にさくらんぼ狩り、七月三日に湯野浜海岸に行えればと思います。

初日の午前中は、I章の関

表計算初級II講座



▲海岸清掃を行う青年部員



▲講座の様子

数の利用から入り、II章の表作成の活用を学び、午後からは、III章のグラフの活用、IV章のグラフィックの利用を学び一日目を終了しました。二日目はV章のデータベースの活用とVI章のピボットテーブルとピボットグラフの作成を学び、二日間の短期訓練学習を終了しました。

私自身、これまで見様見真似（俗に言うと我流）でパソコンを覚えてきましたが、関数に関しては、とても参考になりました。講師の先生も大変親切で良かったです。又、この様な短期訓練があれば是非参加したいと思います。受講者の皆様、慣れない環境の中、大変お疲れ様でした。

(記・教宣部 佐藤 三郎)



今回紹介する『おしどり夫婦』は、みどり町にお住まいの東海林次雄さん、勝子さんご夫妻です。お二人は昭和三十七年にご結婚され、昭和三十九年に現

次雄さんは左官業の社長として、若手職人の育成・伝統技術の継承等、長きにわたりご尽力されました。また、ご

夫婦で左官分会の分会长や主婦の会の会長さんも長く務められ、分会の活動や組合の活動にもご協力頂きました。

驚くのが趣味のマラソンです。国内のフルマラソンはもちろん、アメリカ、オーストラリア、イギリス等海外の大会にも数多く参加され、いつも妻の勝子さんが付き添われたそうです。

現在、満八十九歳になりますが、無理

勝子さん(85歳) 東海林次雄さん(89歳)
在のみどり町にお住まいを建てられました。翌年には、子供たちのお菓子や日用品等を扱う雑貨店を開業され、現在まで五十七年間、勝子さんが元気に営んでおります。

田川分会 分会長 上野 賢吉 次雄さんは左官業の社長として、若手職人の育成・伝統技術の継承等、長きにわたりご尽力されました。また、ご夫婦で左官分会の分会长や主婦の会の会長さんも長く務められ、分会の活動や組合の活動にもご協力頂きました。

良い季節は毎年短くなり、気がつけば長い長い冬が私達を待っています。新型コロナの八波の足音も間近に聞こえる中、十月十八日、約三年振りに全会員十九名の内十名の参加を頂き、磯釣り大会と芋煮会を開催する事ができました。会員の皆様の元気な様子に、自分も頑張ろうと思う気持ちになりました。

今は周りとの感染を恐れてなかなか外出に出ず、日常生活が乱れがちですが今回の開催に当たりたくさんの方々に当たる久ぶりの磯釣りは潮

おしどり夫婦

第3回

のない程度に練習に汗を流しているとの事、これからも仲良くお元気でお過ごし下さい。快く取材にご協力頂き、ありがとうございました。

(記・教宣部 佐藤 晃)

田川分会 磯釣り大会

田川分会 分会長 上野 賢吉

楽しい時間はあつという間に過ぎ、また来年、この様に一同に会す事が出来るように、感染に気を付けて皆で元気に会えるように頑張りたいと思いました。



▲海岸で釣りを楽しむ参加者

編集談話室
あけましておめでとうございます。昨年は、何かと物騒な『ご時世』でした。世界に目を向ければ、二月下旬のブーチン大統領のロシア軍によるウクライナ侵攻。十月二十九日には韓国ソウルの梨泰院でハロウィン雑踏事故。国内を観れば、七月八日の安倍元首相銃撃事件。旧統一教会の靈感商法による寄付金と政治家の関与。北朝鮮による連日のミサイル発射と誰もが憤りを感じた年でした。我々、田川労建も二月に就任した前執行委員長が六月に体調不良に

より突然の辞任、七月からは後を任せられた和田吉和新執行委員長の新体制で手腕を發揮して、組合をリードして頂きたいと思います。未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えませんが、感染予防の対策を徹底して下さい。

今年は卯年です。兎はその飛び姿から「飛躍」「向上」の象徴で親しまれてきました。又、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

私は周りとの感染を恐れてなかなか外出に出ず、日常生活が乱れがちですが今回の開催に当たりたくさんの参加があつて、久しぶりの磯釣りは潮になりますが、無理

います。楽しい時間をありがとうございます。また、青空の下、マスクなしで会いましょう。

(記・教宣部 佐藤 三郎)